

三菱デジタルCCTVシステム“MELOOK μ ”

上田智弘*
茂木一男*
神田英伸**

Mitsubishi Digital CCTV System “MELOOK μ ”

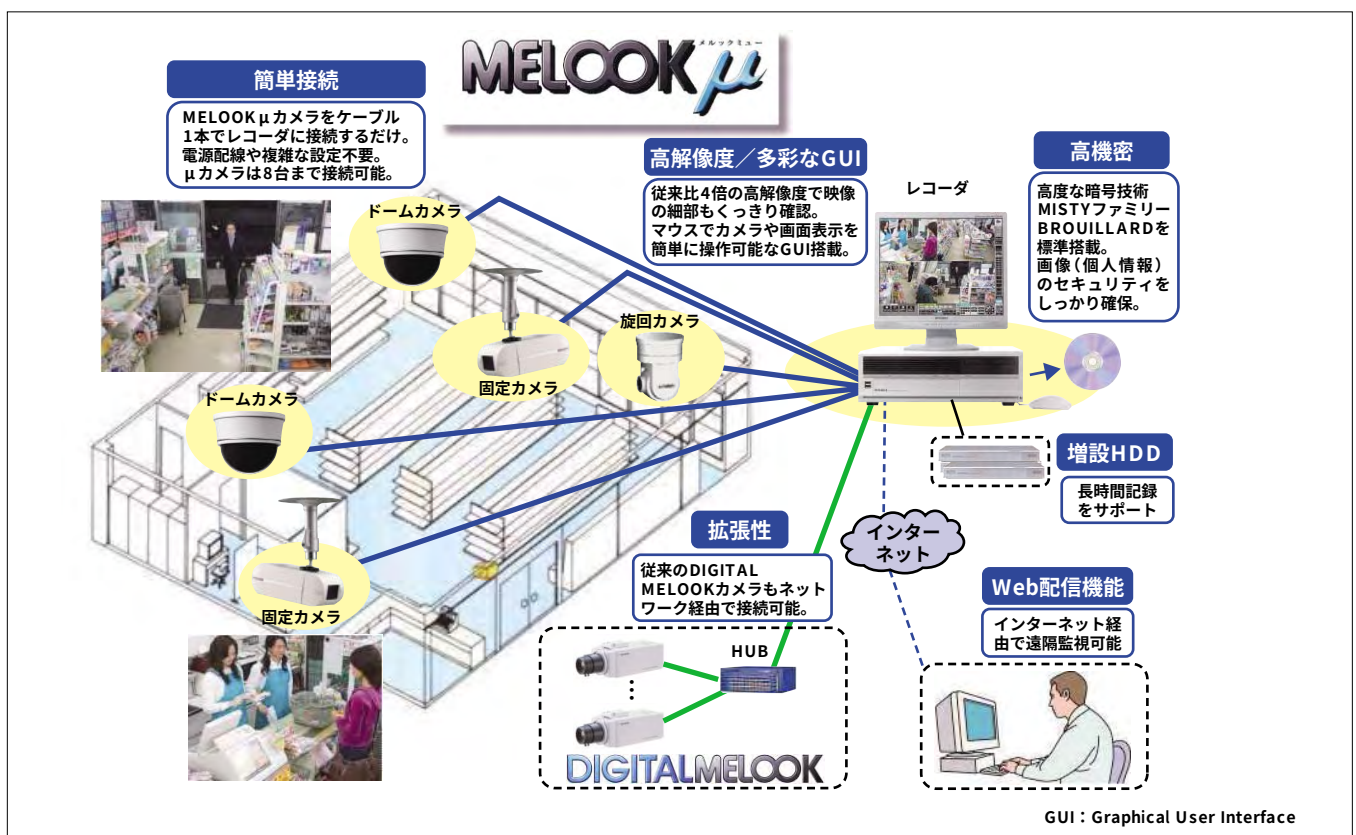
Tomohiro Ueda, Ichio Motegi, Hidenobu Kanda

要 旨

昨今、個人情報保護法の全面施行によって、現金、物品等の有形資産に加え、個人情報等の無形資産を守る重要性がますます高まっている。CCTV(Closed Circuit Television)市場ではこれらの資産を守るため紙幣や商品、人物の特定に優れたシステムが求められている。このニーズにこたえるには映像の高解像度化が必要であるが、従来のアナログCCTVでは性能限界があり、デジタルCCTVに期待が寄せられていた。しかし従来デジタルCCTVでは、大容量データを扱う高解像度化は信号処理系・ネットワーク系への負担が大きく、高価なシステムになるという問題があった。こうした市場環境の中、三菱電機では新しいコンセプトを持ったデジタルCCTVシステム“MELOOK μ (メ

ルックミュー)”を開発した。MELOOK μ は紙幣や商品、人物の特定を容易にするため従来比4倍の高解像度化を実現した。また、人物を特定できる画像は個人情報保護法の対象となるため、世界最高水準の暗号技術によって画像を暗号化することで情報漏洩(ろうえい)のリスクを軽減している。さらにカメラとレコーダ間は専用インターフェースを開発しケーブル1本を接続するだけの簡単施工を実現した。これらの機能・性能を向上させる一方で機器コストは従来アナログCCTVと同等とし、コストパフォーマンスの高いシステムを提供可能とした。

本稿では、MELOOK μ のレコーダとカメラ開発について述べる。



三菱デジタルCCTVシステムMELOOK μ のシステム構成

三菱デジタルCCTVシステムMELOOK μ は、MELOOK μ カメラとレコーダで構成している。カメラで取得した高精細画像を、レコーダで蓄積・表示する。また、レコーダには、従来のDIGITAL MELOOKシリーズのネットワークカメラも接続可能である。蓄積した映像は、当社独自の暗号技術MISTYファミリーBROUILLARD(ブレイヤール)で暗号化し、蓄積画像のセキュリティを確保している。